



地図環境研究所

7千万円がふるさと創生基金からだが、残りの5百17万6千円が一般財源となっているのはなぜか。
 今後、価格がどのようになるかわからない中で、自由度の高い一般財源をいくらか充てることとした。
 幌延町経営力向上促進事業はふるさと創生基金を充てているが、人材育成支援事業と雇用促進事業が一般財源なのはなぜか。
 全てを基金でやる事業もどうかと思いい、今回はハード部分に限って充てることとした。
 地図研究所の建物が町有施設になった場合も、深地層研究施設整備促進補助金が出るのか。
 深地層の研究が続く限り補助金は支出される。
 交渉を進めるのに、町建設業協同組合どちらの鑑定結果を使うのか。
 町の鑑定結果を元に今後交渉を進めていくが、鑑定結果が上限で、ここからどれだけ下げたいかというところを、今後交渉で詰めていきたい。

- ▽議案第1号
幌延町新規就農者支援に関する条例の制定について
- ▽議案第2号
北海道市町村職員退職手当組合の規約変更について
- ▽議案第3号
北海道町村議会議員公務災害補償等組合規則の変更について
- ▽議案第4号
北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ▽議案第5号
幌延町一般会計補正予算

産業地域振興センター整備事業に1億7千5百17万6千円を計上、うち1億



ふるさとの森展望台斜面

公園管理費の手数料、委託料の3百26万6千円の事業とは。
 ふるさとの森展望台の下の伐採した木を下まで降ろす作業の委託料と産廃処理手数料。
 景観が悪いから伐採したと思うが、あそこまで切る必要があったのか。
 景観も理由の一部だが、かなり木が成長し、大風が吹いた時に倒れてきたらどうするかと町民からの声があったことから、災害を未然に防ぐということで伐採した。
 ふるさと創生基金の今年度分の取り崩し予定額は、2億3千7百3万円を予定。

行政報告―町長

平成28年4月から新規就農を目指し、研修を受けていた山口氏は、平成29年度5月31日に研修を終了し、6月1日付で幌延町農業協同組合組合員資格を取得した。町に対し、農業経営基盤強化促進法に基づく青年等就農計画の提出があり、7月5日付で同計画を認定した。認定により、営農に必要な農地取得や青年等就農資金の借入ができる。今後、幌延町新規農業者支援に関する条例に基づく支援を受けながら、早期の経営安定化を目指していく。町としても全力支援していきたい。

教育行政報告―教育長

○学校教育
 中学校体育文化連盟主催の全道大会では、陸上で幌延中学校3年生の柳沼君、後藤さん、2年生の戸川さんが出場した。剣道では、幌延中学校3年生の伊藤君、2年生の基川さんが個人戦

に出場し、健闘した。文化面では、北海道吹奏楽コンクール稚内地区大会に出場し、C編成の部で金賞を受賞した。

○社会教育

本年度計画している事業は、天候にも恵まれ、予定通り実施されている。夏休み中、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図ることを目的に朝活事業を開催した。スポーツ少年団では、野球、剣道、バレーボールの3団体が共に全道や全国大会に出場を果たした。



朝活事業 キッズダンス教室